

河川浚渫

Q 河川の計画的な浚渫を
A 計画的な浚渫を県に対して要望し続けている

丸山 河川の改良を待たず、計画的な浚渫を行うべきと考え

るが、県への要望はどのよう
にされているか。

町長 地元行政区からの要望を

受け、八女土木整備事務所へ
要望している。限られた予算
の中で出来る範囲で対応して
いくとの回答、今後も要望し
ていく。



河川が必要なる浚渫が数多くある

浄化槽補助

Q 浄化槽設置補助の公平性を
A 条例によるものだが、現在協議している

丸山 補助額は、公平に同額で

あるのが基本であると考え
が、地区によって補助額が違
うのはなぜか。

町長 広川町人口減少地域定住
促進強化条例に基づく定住促
進対策として上広川地区へ30
万円の上乗せをしている。た



丸山 幸弘 議員

事業者支援

Q 小規模事業者に対する支援
策について
A 関係機関と協議し、支援策の検証を進める

丸山 小規模事業者支援につ

て町の考えを伺う。

町長 専門的な支援が必要なこ
とから広川町商工会と連携し
事業効果を検証しながら、経
営改善普及事業、創業支援事
業、商品券発行事業などの支
援、新規創業、販路開拓のた
めの町独自の補助金制度を創
設し支援している。

丸山 広川町融資制度について
は、ほかに低利の融資があり、
メリットがまったくない、こ
れの必要性について伺う。

町長 広川町融資制度は、昭和
54年度に条例制定された事
業、近年、国・県施策と不相
応な点が生じており、現状に
あった制度構築を検討する時
期に来ていると感じている。

デジタル化

Q デジタル化推進状況とこれ
からの計画は
A 交付金等活用に努力して持
続的に進め支援していく

水落 インターネットやパソコ

ンなど利用できるものとでき
ないものとの間に生じる情報
格差に、高齢者、障害者に対
する支援が重要とされている
。広川町では地域コミュニ
ティ活動オンライン化促進事
業の中でデジタル化推進事業
を実施しているが状況及び課
題についてお伺いしたい。

町長 デジタル化推進は新型コ

ロナウイルスの影響により取
り組みを始めるようになつ
た。現在は公民館と他団体と
オンラインを活用して様々な
事を実施している。障害者に
ついては令和6年度からの次
期障害者福祉計画の中で目
標を立てて取り組んでいく。

教育長 地区公民館を活用し

た、「シニア向けスマホ講座・
ZOOM講座」、また、分館
運営研究班と企画課、社会福
祉協議会と連携し、オンライ
ンによる「サロン体験会・リ
モート会議体験会」を実施し
た。また、まちづくり委員会
と姫野病院が連携して、高齢
者の方に支援する取り組みも
計画されている。課題として



水落 龍彦 議員

人材育成、デジタル化社会に
おける地域住民の理解促進を
どう地域の活性化につなげて
いくことだと考える。また、
スマホ講座・ZOOM講座に
ついては全分館で実施できる
よう取り組んでいく。

水落 コロナ禍が落ち着いたら
デジタル化はどうするか。

教育長 情報格差の解消等やっ
ていかねばならないと考える。

水落 地域コミュニティ活動オ
ンライン化促進事業はいつま
で続くのか。

町長 国のICT事業の関連交
付金等、補助事業を精査した
上で活用しながら持続的に
進めていく。

水落 各課協力連携され、若い
人が知恵をだしあいながらの
実践等ぜひ地域活性化のため
に継続向上していただきたい。



公民館で行われているデジタル化の研修会